

第3号様式

介護・医療連携推進会議開催報告書

R7 年 10月 14日

事業所名	24時間在宅ケアステーション敬寿園	
担当者	篠崎 光浩	電話番号 666-6150

1 開催日時	令和 7年 9月 25日 10:30 ~ 11:30	
2 開催場所	山形敬寿園	
3 出席者	出欠	
(1) 委員 7人	× 武田直子 × 木幡節子 ○ 横川 孝 ○ 松尾 佳恵子 ○ 佐藤 正俊 ○ 木村 育雄 ○ 武田 彩 ○ 高田 政博 ○ 高橋 光希	24時間在宅ケアステーション敬寿園 家族代表 24時間在宅ケアステーション敬寿園 利用者代表 東沢地区民生児童委員協議会 会長 東沢地区福祉協力員 代表 東沢地区老人クラブ長生会 会長 妙南町内会 会長 訪問看護リハビリステーション敬寿園 管理者 愛らんど地域包括支援センター 山形県立保健医療大学実習生(見学参加)
(2) 事務局 4人	高橋富蔵 松田奈津子 篠崎光浩 本間貴裕	社会福祉法人敬寿会 監事 山形敬寿園 施設長代理 24時間在宅ケアステーション敬寿園 管理者 24時間在宅ケアステーション敬寿園 副主任介護員
4 活動状況報告	別紙のとおり	
5 活動状況に関する評価		
	今期の活動は概ね適切に実施されている。	
6 要望、助言		
① 介護度1、2の利用者が多い様子だが、介護度と訪問回数については比例するのか ② 看護との情報共有については、どのようにおこなっているのか		
7 要望、助言に対する考え方		
① 要介護1が多いが、長年利用に応じて介護度が高くなるけいこうにある。回数はニーズによるため、要介護1でも1日3回であるならば1日3回の訪問となり、要介護5でもニーズによつては1日1回で随時サービスや緊急ケアコール端末での対応という場合もある。 ② 看護との情報共有については、スマケアのシステムを利用しながら、訪問看護の他ケアマネージャーにも情報共有にをしている、そのほかChat機能の利用や、電話でのやり取り等、状況に応じたツールを利用している。		
8 その他特記事項		
①		
②		